

# ぎかい TIMES

No.  
81

令和8年6月1日発行

## 令和8年度予算の中から、主要な事業をPICK UP!!

※1万円未満は切り捨て



### 将来事業等の企画事務費

**3325万円**

成田空港機能強化に伴うまちづくり方針基礎調査委託などの事業を推進していく。



### 乳児等通園支援

**1249万円**

就労条件等を問わず時間単位で保育所等を利用できる新たな通園給付制度である。



### 公立保育所運営費

**6億1570万円**

全公立保育所にAEDと見守りカメラを導入し、児童の安心安全と保育の透明性を図る。



### 感染症予防対策

**1億9111万円**

新たに定期化されるRSウイルスワクチンの円滑な実施体制を整え、健康を守るための環境を構築する。



### 妊婦・乳幼児健康診査

**4563万円**

発達障がい等こどもの特性を早期に発見し、適切な支援を行うことを目的に5歳児健康診査を実施する。



### 畜犬等適正管理指導

**549万円**

飼い主がいない猫に対して不妊・去勢手術費用の助成を行い、処分数の抑制を図る。



### 商業活性化推進

**1417万円**

実店舗の開業を目指す者に対し、試験的な短期出店の費用を助成し、新規出店を後押しする。



### 小学校統合整備

**9億2360万円**

学校再編による開校準備のため、校舎と屋内運動場等の改修工事及び実施設計を行う。

一般会計予算の概要と主要事業を公開しています。



## Contents

予算審査特別委員会	2
議案審議	4
常任委員会審査	5
審議結果一覧	6
一般質問	8
議会の1年をカンタン解説	15
第2回定例会の予定等	16

## 第1回 定例会

# 予算審査特別委員会

3月6日、9日、10日の3日間で予算審査特別委員会が開催されました。委員は永井孝佳委員長、平山清海副委員長、松木源太郎委員、木内欽市委員、片桐文夫委員、崎山華英委員、伊場哲也委員、常世田正樹委員、戸村ひとみ委員の9名で、令和8年度予算について審査を行いました。



## 令和8年度一般会計予算 328億2000万円

### 予算編成方針

令和8年度の予算編成にあたっては、社会情勢や国の動向、市民ニーズを的確に捉えながら、必要な事業を見極め、最も効果的・効率的な手法を選択し、事業の総量の最適化を進め、「チーム旭でまちづくり」の理念のもと、市民一人ひとりが健やかで幸せに、満足した暮らしを送ることができ、「ずっと住み続けたい」と思ってもらえるまちづくりを持続的に行い、将来世代に責任をもって引き継いでいくための予算編成方針とした。

新年度予算の中から、予算審査特別委員会で質疑のあった事業を紹介します。

PickUp  
2



### 部活動地域クラブ運営

2598万5000円

中学校の休日部活動を地域展開するために、コーディネーターを雇用し、移行に向けた体制を整備する。また、移行後のクラブ運営は業務委託により行う。

PickUp  
1



### 子育て世代包括支援

1586万7000円

こども家庭センターにおける母子保健機能として、妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に応じ、妊産婦及び乳幼児の健康の保持及び増進に関する包括的な支援を行う。

# 予算審査Q&A

PickUp  
4

## 防災体制強化

A

このシステムは災害が発生した場合に建物の被害認定調査を行い、罹災証明書の発行、被災者台帳の管理をするものである。作業の迅速化や正確性が向上し、職員の負担軽減にも繋がる。また、全国で導入が増えており、応援や受援の際にもメリットがある。

Q

被災者支援システム運用事業負担金について、システム導入により業務の効率化や支援の迅速化など、具体的にどうなるのか。

PickUp  
3

## シティプロモーション推進

A

費用対効果としては、本市がテレビや映画などで取り上げられることで、市の知名度やイメージが向上している。多くの人が旭を訪れたことで経済効果もあったと考えている。

Q

結構な予算をかけているが、ロケツーリズム推進業務委託料の費用対効果の評価について、どのように行っているのか。

PickUp  
2

## 部活動地域クラブ運営

A

委託料の約3割が指導者への報酬で、約7割がアプリを利用した生徒管理、残りが人件費。9月に地域移行できるよう、生徒や保護者、教員への説明会を行っている。約20クラブの移行を予定しており、指導員を60名程度募集する。

Q

運営業務委託料2127万円について、積算根拠と現在の進捗状況、今後の見通しは。

PickUp  
1

## 子育て世代包括支援

A

8月から事業を開始し、12月末時点で、421名の登録があった。利用の実績は、24時間対応の相談が244件、平日の夜間相談が19件、助産師による日中相談が7件。また、過去の相談内容を検索できる相談検索は299件の利用があった。

Q

オンライン医療相談委託料について、令和7年度から始まったと思うが、どれぐらいの登録や利用があったのか実績を伺う。

# 令和8年度予算 注目事業をPick Up

PickUp  
4



## 防災体制強化

1589万7000円

災害対応業務のDX化を図るため、被災者生活再建システムを導入し、被災者情報を一元管理することで、事務の効率化と早期・的確な支援を実施する。

PickUp  
3



## シティプロモーション推進

1631万1000円

ロケ誘致・支援を行うことによる作品を通じた情報発信、映画やドラマ等の作品の舞台を訪れてもらうロケツーリズムを推進することで旭市の認知度向上を図る。

# 第1回 定例会

# 議案審議

会期 2月20日～3月19日(28日間)

## 市長提出議案

- 予算案件 …………… 11件
- 条例案件 …………… 10件
- 人事案件 …………… 3件
- その他案件 …………… 3件

この定例会には、令和8年度各会計予算、条例の一部改正・廃止、人事案件など27議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・同意・承認されました。

質疑と答弁の要旨の一部は次のとおりです。QRコードを読み取ると議案質疑の録画映像をご覧ください。



## 予 算

### 議案 第9号

## 令和7年度 旭市一般会計補正予算

歳入歳出予算にそれぞれ18億9800万円を追加し、予算の総額を376億3500万円とする。繰越明許費の追加や地方債の追加及び変更も行う。

**問** 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金7億5560万2000円について、どのような事業に配分されているのか伺う。

**答** 充当事業は3つある。1つ目が、市民1人当たり1万1500円の給付金の支給を行う事業。2つ目が、プレミアム率20%のプレミアム付共通商品券の発行を行う事業。3つ目が、水道基本料金2か月分の減免を行う事業。

**問** 放送受信料321万円について、NHK受信料の未払い分とのことだが、詳細を伺う。

**答** 内訳については、カーナビが17件、モニターの目的で設置していたテレビが4件、衛星放送が受信できる状況にあるが、地上波のみの契約となっていたテレビが13件。期間について、カーナビは長いもので平成20年から、テレビは平成26年からのものがある。

**問** 5年を超えるものについては時効が表明できるという認識があるが、

なぜ平成20年まで遡って支払うのか。

**答** 今回の事案は、NHKの放送を受信できる設備を設置した者は契約を締結しなければならないという契約締結義務の不履行となり、契約自体を締結していないため、契約がある場合は状況が異なる。時効に関しては、契約が成立した後、NHKによる請求権が発生し、時効に向けてのカウントが始まる。つまり、未契約である今回の事案については時効のカウントが始まっておらず、テレビ等を設置した日まで遡って請求されることとなり、時効を主張できず、5年以上前の受信料も支払うこととなる。

## 条 例

### 議案 第16号

## 旭市長寿祝金支給条例 の一部改正

### 8年ぶりに受給資格等を見直し

受給資格者について「引き続き1年以上」を加え、「9月1日現在において、引き続き1年以上本市の住民基本台帳に記録されている者」とし、年齢の区分を5区分から3区分に再整理する。

**問** 満80歳の方と満101歳以上の方を除外した理由について伺う。

**答** 満80歳については、平均寿命が満80歳を超えており、県内の状況も

### 長寿祝金の新旧比較

受給資格者	新	旧
満80歳に達する者	廃止	5000円
満88歳に達する者	10000円	10000円
満99歳に達する者	20000円	10000円
満100歳に達する者	30000円	30000円
満101歳以上に達する者	廃止	10000円

\*9月1日時点で1年以上旭市民であることが、追加された。

**答** 令和8年度予算編成時の対象見込みの人数で試算した場合、現行の制度で算定した見込額は1045万円。改正後の制度で算定した見込額は593万円、452万円の減額となる。

**問** 参考には、対象外とした。満101歳以上の区分については、節目に合わせた祝い金の役割は満100歳の給付をもって果たしたものと考え対象外とした。  
**答** 予算額がどのように変わってくるのか。

# 常任委員会審査 Q & A



旭市議会  
会議録検索  
システム

議案や請願・陳情を分野別に各委員会に振り分け、専門的に審査をします。審査後は、賛成・反対を決め、本会議で報告します。質疑と答弁の要旨の一部は次のとおりです。詳しい内容を知りたい場合は6月中旬に掲載予定の会議録をご覧ください。

## 建設経済常任委員会

旭市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第11号)

**Q** 鳥獣被害対策実施隊員の報酬は、年額2000円とのことだが、安いのではないか。

**A** 非常勤職員としての身分に基づく報酬であり、近隣自治体における報酬を勘案するとともに、実際の活動に対する日当は、旭市鳥獣被害防止対策協議会から別途支払われることを踏まえての設定である。

旭市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第18号)

**Q** 住宅が解体されて、更地となると、砂埃などが飛散するが、団地内の住宅が全てなくなるまでそのままにしておくのか。

**A** 解体撤去後、更地にして砕石等で飛散防止をする。全体が撤去された場合は、利用計画を検討するが、現状では撤去したところだけ、飛散防止を行う。



### 審査結果

委員会付託の4議案について、全員賛成で原案のとおり可決。

## 文教福祉常任委員会

令和7年度旭市一般会計補正予算の議決について(議案第9号)

**Q** 中学校施設改修事業について、設計・監理委託料と校舎等改修工事の内容は。

**A** 中学校5校体育館への空調設備設置工事に関するもので、設計監理委託料と工事の内容は、足場の設置、室内外機の設置、ポールガードの設置、受変電設備の改修を行うもの。

**Q** 空調設備設置工事の中に、断熱工事も含まれているのか。

**A** 断熱工事は含まれていない。今後、状況に応じて行う。

**Q** 空調設備設置工事の設計年度と工事年度はいつか。

**A** 令和7年度補正予算で計上し、繰越事業として令和8年度に工事を行う。

旭市青少年問題協議会設置条例を廃止する条例の制定について(議案第20号)

**Q** 青少年問題協議会は、どのような役割を担っていたものなのか。また、廃止することで市民への影

響はないのか。

**A** 青少年問題協議会は、青少年に関する施策について、必要な事項の調査審議や、関係機関との連絡調整、意見の具申などを行っていた。他の協議会等に役割が引き継がれていることから、市民への影響はない。

### 審査結果

委員会付託の7議案について、全員賛成で原案のとおり可決。陳情1件について、賛成多数で採択。

## 総務常任委員会

旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について(議案第14号)

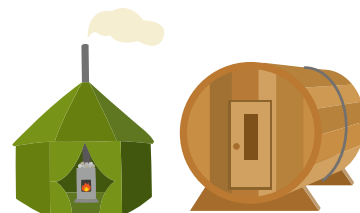
**Q** 国保税の課税限度額について、子ども・子育て支援金はいつ決定するのか。

**A** 子ども・子育て支援金の限度額は、国民健康保険料では昨年11月に3万円とすることで決定している。国保税は例年3月31日に国の施行令により決定されるため保険料と同額であれば3万円となり、専決処分により条例改正を予定している。

旭市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について(議案第19号)

**Q** 改正後にサウナの種類が2つとなるが、その違いは。

**A** 一般的にある屋内のサウナのほか、テント型やバレル型のサウナが増えてきたことから、国において、設置基準を設けた。バレル型などは、熱源機器が6kW以下の小さいもので、離隔距離を一般的なサウナの距離に合わせると不都合があるため、緩和処置として一般サウナと簡易サウナを分けた。



テント型とバレル型サウナ

### 審査結果

委員会付託の7議案について、議案第14号、第21号は賛成多数で、その他議案は全員賛成で原案のとおり可決、承認。

# 令和8年 第1回定例会 審議結果一覧



議案等はホームページで公開しています。QRコードを読み取ると議案等をご覧いただけます。

審議案件一覧

議案番号	件名と主な内容(件名は一部省略)	付託委員会	委員会の審査結果	本会議の議決結果
市長提出議案				
1	令和8年度旭市一般会計予算…歳入歳出予算を328億2000万円と定めるもの。対前年度13億8000万円の減となった。	予算審査	原案可決	原案可決 賛成多数
2	令和8年度旭市病院事業債管理特別会計予算…歳入歳出予算を38億4500万円と定めるもの。旭中央病院への貸し付け約15億円と病院債の償還約23億円を計上した。	予算審査	原案可決	原案可決 全員賛成
3	令和8年度旭市国民健康保険事業特別会計予算…歳入歳出予算を事業勘定80億3400万円、施設勘定8100万円と定めるもの。	予算審査	原案可決	原案可決 全員賛成
4	令和8年度旭市後期高齢者医療特別会計予算…歳入歳出予算を10億7200万円と定めるもの。歳出では保険料等の増に伴う広域連合納付金の増額などにより、対前年度比21.4%増を見込んだ。	予算審査	原案可決	原案可決 全員賛成
5	令和8年度旭市介護保険事業特別会計予算…歳入歳出予算の総額を61億8800万円と定めるもの。介護保険事業計画の策定支援業務委託料や居宅介護サービス給付費などを計上した。	予算審査	原案可決	原案可決 全員賛成
6	令和8年度旭市水道事業会計予算…主要な建設改良事業として、旭配水場ポンプ施設更新工事9億1839万円および旭地域および飯岡地域の基幹管路の耐震化工事を含む配水管布設替工事3億4418万円を予定している。	予算審査	原案可決	原案可決 全員賛成
7	令和8年度旭市公共下水道事業会計予算…主要な建設改良事業として、処理場設備更新工事8851万7000円を予定している。	予算審査	原案可決	原案可決 全員賛成
8	令和8年度旭市農業集落排水事業会計予算…主要な建設改良事業として、ポンプ場設備更新工事770万円を予定している。	予算審査	原案可決	原案可決 全員賛成
9	令和7年度旭市一般会計補正予算…歳入歳出予算に18億9800万円を追加し、予算の総額を376億3500万円とするもの。→4ページ参照	建設経済 文教福祉 総務	原案可決 原案可決 原案可決	原案可決 全員賛成
10	令和7年度旭市介護保険事業特別会計補正予算…歳入歳出予算に1億5100万円を追加し、予算の総額を61億4200万円とするもの。基金運用利息と剰余金を積み立て、介護給付費負担金等の確定による国・県・市の精算分を返還する。	文教福祉	原案可決	原案可決 全員賛成
11	旭市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正…猟友会および地元住民による旭市鳥獣被害対策実施隊を設置し、鳥獣被害対策実施隊員の年額報酬額を2000円とするもの。	建設経済	原案可決	原案可決 全員賛成
12	旭市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正…地域手当を100分の2から100分の4に引き上げ、3つの区分に分かれていた通勤手当を統合する。	総務	原案可決	原案可決 全員賛成
13	旭市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正…会計年度任用職員の地域手当についても、同様の改定を行うもの。	総務	原案可決	原案可決 全員賛成
14	旭市国民健康保険税条例の一部改正…国民健康保険税の課税額に「子ども・子育て支援納付金課税額」が追加されることから、所要の改正を行う。また、昨年3月の税制改正で国民健康保険税の基礎課税分および後期高齢者支援金分の課税限度額が引き上げられたことから併せて改正を行う。	総務	原案可決	原案可決 全員賛成
15	旭市立保育所条例の一部改正…令和12年度に古城保育所とまんざい保育所を統合する予定となっていたが、計画を前倒しして統合することとし、まんざい保育所を廃止するため、所要の改正を行う。	文教福祉	原案可決	原案可決 全員賛成
16	旭市長寿祝金支給条例の一部改正…前回の見直しから8年が経過する中、高齢化の進展や平均寿命の延伸など、社会情勢の変化に対応するため、受給資格や支給額を見直すもの。→4ページ参照。	文教福祉	原案可決	原案可決 全員賛成
17	旭市国民健康保険条例の一部改正…旭市国民健康保険の被保険者である妊産婦の医療費のうち、一部負担金を助成する妊産婦付加金について、令和7年度から国の施策として、市民全体を対象とした、妊婦のための支援給付制度が新たに開始されたことから、廃止することとしたため、所要の改正を行うもの。	文教福祉	原案可決	原案可決 全員賛成

議案番号	件名と主な内容(件名は一部省略)	付託委員会	委員会の審査結果	本会議の議決結果
18	旭市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正…老朽化による用途廃止に伴い、双葉団地の戸数を38戸から36戸へ改めるもの。	建設経済	原案可決	原案可決 全員賛成
19	旭市火災予防条例の一部改正…簡易的なサウナ設備に関する規制緩和及び感震ブレーカーの設置促進のため、「対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令」の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。	総務	原案可決	原案可決 全員賛成
20	旭市青少年問題協議会設置条例の廃止…旭市青少年問題協議会はその役割を、社会教育委員、青少年相談員および青少年育成市民会議、青少年センター等に引き継がれており、目的は十分に果たされていることから、条例を廃止するもの。	文教福祉	原案可決	原案可決 全員賛成
21	旭市過疎地域持続的発展計画の策定…干潟地域の持続的発展を図るため、「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」や「千葉県過疎地域持続的発展方針」に基づく新たな計画を策定し、議会の議決を求めるもの。	総務	原案可決	原案可決 賛成多数
22	指定管理者の指定(飯岡福祉センター)…現在、同施設の指定管理者である社会福祉法人旭市社会福祉協議会について選定委員会で審議を行い、審議の結果、適当な候補者として選定されたことから、議会の議決を求めるもの。	文教福祉	原案可決	原案可決 全員賛成
23	市道路線の認定…宅地造成に伴い、帰属および寄附された2路線を認定するにあたり、議会の議決を求めるもの。	建設経済	原案可決	原案可決 全員賛成
24	旭市監査委員の選任…地方自治法第196条第1項の規定により、議会の同意を求めるもの。選任したい方は、二にお住まいの宮内敏之氏。	付託省略		同意 全員賛成
25	人権擁護委員候補者の推薦…任期満了に伴い、後任を法務大臣に推薦するにあたり、議会の意見を求めるもの。推薦したい方は、萬力にお住まいの金杉光信氏。	付託省略		同意 全員賛成
26	人権擁護委員候補者の推薦…任期満了に伴い、後任を法務大臣に推薦するにあたり、議会の意見を求めるもの。推薦したい方は、二にお住まいの平山保幸氏。	付託省略		同意 全員賛成
27	専決処分の承認(令和7年度旭市一般会計補正予算)…衆議院解散に伴い、衆議院議員選挙に係る経費を1月23日に専決処分したので、議会の承認を求めるもの。	総務	承認	承認 全員賛成
委員会提出議案(発議)				
1	保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書の提出について	付託省略		原案可決 賛成多数
陳情				
1	保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書提出を求める陳情	文教福祉	採択	採択 賛成多数

## 賛否が分かれた議案等と欠席者のあった議案

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 議=議長  
※議長は採決に加わりません。

議案番号	件名	審議結果	議員																		
			1 金澤 雅哉	2 高橋 美千子	3 戸村 ひとみ	4 常世 田正樹	5 伊藤 春美	6 伊場 哲也	7 平山 清海	8 崎山 華英	9 永井 孝佳	10 井田 孝	11 島田 恒	12 片桐 文夫	13 遠藤 保明	14 宮内 保	15 飯嶋 正利	16 宮澤 芳雄	17 伊藤 房代	18 木内 欽市	19 松木 源太郎
市長提出議案																					
1	令和8年度旭市一般会計予算の議決について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	旭市過疎地域持続的発展計画の策定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	旭市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会提出議案(発議)																					
1	保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書の提出について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情																					
1	保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書提出を求める陳情	採択	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 第1回定例会 一般質問

★印の項目については、質問とその答弁の要旨を掲載しています。  
またQRコードを読み取ると、質問した議員の録画映像をご覧くださいいただけます。

P9 しまだ わたる  
島田 恒 議員



- ★ 基幹産業である農業の振興について
- ★ 資産マネジメント戦略について

とこよだ まさき  
常世田 正樹 議員



- ★ 防災力の強化について
- ★ 交通安全の強化について
- ★ 農業の振興について

P10 さきやま はなえ  
崎山 華英 議員



- (仮称)北統合中学校の再編について
- ★ 放課後児童クラブの民間委託について
- ★ 成田空港機能強化に向けての取組

とむら  
戸村 ひとみ 議員



- ★ 地域の活性化と発展について
- ★ 観光の振興について

P11 いとう ふさよ  
伊藤 房代 議員



- ★ 物価高対策について
- ★ 防災対策について
- 投票率の向上について

ながい たかよし  
永井 孝佳 議員



- 区の在り方について
- ★ 消防団の在り方について
- ★ 環境美化について

P12 かなざわ まさや  
金澤 雅哉 議員



- ★ 若者の市政参加について

いとう はるみ  
伊藤 春美 議員



- ★ 障がい者福祉の充実—ストーマ装具の負担軽減へ
- ★ 愛犬連れでも安心できる道の駅へ
- ★ 自転車ルール改正の周知を強化

P13 たかはし みちこ  
高橋 美千子 議員



- ★ 地域社会での外国人住民との共生について

まつき げんたろう  
松木 源太郎 議員



- ★ 国民健康保険税の負担軽減対策について
- ★ 園芸用廃プラスチック対策の農家費用軽減について
- ★ 飯岡駅地域から国道126号バイパスまでの排水対策について

P14 いば てつや  
伊場 哲也 議員



- 旭市DX基本方針と推進計画について
- ★ まちづくり出前講座について
- ★ 後期高齢者医療保険料の改定について

# 市政を問う!



## 一般質問とは

本会議で議員が行う市政全般に関する質問です。旭市の様々な課題について、市の考えを聞き、説明を求めます。

第1回定例会では11人の議員が質問を行いました。各議員の質問の項目については記載のとおりです。



島田 恒 議員

### 基幹産業である農業の振興について

**問** 資材価格の高騰を受け、農業経営の継続が難しいとの声がある。市の経営支援の現状と、中小規模農家への対応はどうか。

**答** 市独自の支援としては、国の対象とならない親元就農への支援金の給付や、転入による雇用就農への家賃補助などを行っている。

**問** 農地の分散・遊休化・耕作放棄地が課題となる中、農地集約と農地中間管理事業について市の役割を伺う。

**答** 昨年度に市内15地区で地域的集約などの話し合いを継続し、定期的な見直しに取り組んでいく。農地中間管理事業の市の役割は、農地を貸したい人と借りたい人の間に入り、受付事務を行っている。農業由来のバイオマス資源の循環利用の現状は。

**答** 現状では、個々の農家による肥料利用や耕畜連携による活用は見られるものの、資源の収集や供給体制、利用先の確保などが十分に整っておらず、地域全体での循環利用には至っていない。

### 資産マネジメント戦略について

**問** 学校跡地を保有し続けることによる維持管理費増加が懸念される中、学校統合に伴う跡地利用の基本方針と検討体制、具体的な活用手法について伺う。

**答** 旭市学校施設利用基本方針の下で検討を進めていく。具体的には、地域住民のニーズを踏まえた利活用、行政需要への対応、民間事業者等による利活用の3つの観点を重視し進めて行く。

**問** 民間提案型制度の導入状況と、旧海上中学校跡地の活用検討について伺う。

**答** 公共施設等管理計画において、公民連携を推進し、積極的に検討することとしている。また、サウンディング型市場調査を実施する等、民間提案型の手法を既に検討・導入している例もある。旧海上中学校跡地についても、サウンディング型市場調査を実施し、民間事業者からの提案を近日中に募集する。

### 防災力の強化について

**問** 県ではフェーズフリー条例の策定に向けての動きがあるようだが、本市におけるフェーズフリーの取り組みについて、市長の考えを伺う。

※フェーズフリー…解説は16ページ。

**答** 本市においては、既に実施している防災給食のローリングストックや公園へのマンホールトイレの設置などの取り組みがフェーズフリーの考え方に合致する。災害発生時だけでなく、普段の暮らしも豊かにするというフェーズフリーの考え方を踏まえ、今後も千葉県と連携しながら、安全・安心なまちづくりに努めていきたい。

### 交通安全の強化について

**問** 干潟小学区にある信号のない交差点(干潟小学校東側、道焼き肉一力の西側)について、道

幅が同程度であるため、近隣住民と通行者の間で優先道路に関する認識に違いがある。安全のため、一時停止の設置など、何か対策は取れないのか。

**答** 当該交差点は以前にも危険設置が検討された。しかし当時は設置には至らなかった。一時停止の設置を改めて警察へ要望し、ドット線の設置等の対策を進める。

### 農業の振興について

**問** 山間の農地、農道が狭い、水利が乏しい等の条件不利地は何かしなければ、耕作放棄地になってしまう。耕作放棄地再生事業補助金によって農地を再生するのであれば、耕作放棄を減らすための耕作奨励金があっても良いのではないか。

**答** 耕作放棄を防止するための奨励金制度を創設するには、対象農地の範囲、交付要件の公平性、営農実態の確認方法など、制度設計上の課題が多岐にわたる。耕作放棄の未然防止は極めて重要であるので、既存の多面的機能支払交付金の活用、地域計画に基づく農地集約を推進することにより、実質的な予防効果を高めていくことが現実的である。



常世田 正樹 議員



議員 華英 崎山

### 放課後児童クラブの民間委託について

**問** 委託事業者が決定したが、今後の運営で変更となる点は何か。

**答** 登降所連絡アプリの導入、各種無料教室・イベントの実施、長期休業期間中のお弁当の配達サービス導入。これらの取り組みにより、質の高い育成支援と保護者の利便性の向上を図る。

**問** クラブ利用料が月5000円から7000円に改定となるが、民間事業者に委託することと関連があるのか。

**答** 受託料の改定と、民間委託に関連はない。昨今の人件費等の高騰により必要経費が増大する中で、安定的に放課後児童クラブを運営していくために見直ししたもの。

**問** 民営化で4月から業務が大きく変わることが予想される。継続して働く支援員に安心し

て働いてもらえるようなサポート体制は。

**答** 3月に委託事業者による入社研修(基本的な接遇研修、登降所連絡アプリの操作手順の説明など)が実施される。4月から万全の体制で運営が開始できるよう準備を進めていく。

### 成田空港機能強化に向けての取組

**問** 昨年、市長は成田空港機能強化を活用した地域活性化にスピード感を持って取り組むと発言されたが、今後どのような施策を行っていくのか。

**答** 航空便や貨物の増加、輸出拡大、雇用創出、観光振興などの波及効果を見込みつつ、令和8年度は基礎調査により本市の特性や需要を把握し、その結果を踏まえ地域資源を生かした具体的な産業・観光振興策を検討する。

**問** ワンストップ輸出拠点である成田市場等を生かしながら市農産物・旭市ブランドの輸出強化に向けた具体的事業に取り組む考えはないのか。

**答** 今後は県や関係機関と連携強化を図り、事業者に対し実効性のある支援策を検討する。ブランド発信についても研究していく。

### 地域の活性化と発展について

**問** 令和9年度に開催される「全国豊かな海づくり大会」について、市としておもてなしをどのように考えているか伺う。

**答** 大会の主な行事内容はまだ決定されていない。

**問** 大会開催のことを周知してほしい。令和8年度に市民への理解を深めておく必要があると思うが、今後の周知の仕方は。

**答** 市で実施している海に関するイベントや広報、ホームページなどで大会の周知を図る。

**問** 天皇后両陛下がお越しになることを契機に、防犯カメラを増設するなど、考えられる市の役割を伺う。

**答** 環境整備として、市が管理する施設については、適切な管理に努めるほか、県などが管理する施設についても、要望していきたい。

**問** 市民参加はどのように考えているか。市の芸術家の作品献上や特産品の開発を市内業者に依頼するなど、市民参加のやり方を研究してほしい。

**答** 過去の大会では、絵画等などが行われており、県の実行委員会を通して検討していきたい。

### 観光の振興について

**問** 全国豊かな海づくり大会の開催を契機に、海業に対する期待も高まると考える。どのように観光振興につなげるのか。

**答** 基本的な計画となる旭市海業推進事業計画の策定に向け、現在作業を進めている。

**問** 積極的に「海業」と「全国豊かな海づくり大会」とを結びつけ、関連性を持たせながら事業を進めていくべきと考えるが。

**答** 二つの事業に対する市民の認知度を高め、漁業への理解を深めてもらいたい。



議員 ひとみ 戸村



大会ロゴマークの「千葉の海ロゴマーク」



伊藤 房代 議員

### 物価高騰対策について

**問** 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業について、その内容と今後の予定について伺う。

**答** 本市では3つの事業を予定している。1つ目が、旭市物価高騰対策臨時特別給付金給付事業。全市民に対し1人当たり1万1500円の給付金を支給する。5月からの支給を予定している。2つ目が、プレミアム付旭市共通商品券発行事業。市内の商店等で利用できるプレミアム率20%の商品券を発行する。5月に往復はがきによる購入申込受付を開始し、申込み多数の場合は抽選を行い、6月下旬までに結果を通知する。使用期間は7月1日から12月31日までの6か月間。3つ目が、水道料金の減免。水需要の多い夏の時期に、水道基本料金2か月分の減免を予定している。

### 防災対策について

**問** 感震ブレイカーは、自動的に電源を遮断できる装置であり、地震時の電気火災の抑制に効果がある。地震による火災を防止する一方策として、有効な感震ブレイカーの設置・購入に対する支援制度はあるのか。

**答** 感震ブレイカーの設置・購入に対する補助金等の支援制度は行っていない。

**問** 感震ブレイカーを普及促進する取り組みをしてきたのか。

**答** 国の示す普及促進に関する考え方において、地方公共団体の防災部局のみならず、電気関係事業者や住宅関連事業者等の関係者と連携し、普及促進体制を構築することが必要とされている。地域防災計画を所管する防災部署が中心となり、関係機関と連携を図りながら、役割を明確にした協力体制の構築に努め、実効性のある普及促進を図る。取り組みとしては、ホームページなどに感震ブレイカーの必要性やチラシなどを掲載している。また、市内イベント等において、感震ブレイカーの設置に関するアンケート調査や啓発活動も実施している。

### 消防団の在り方について

**問** 現在進めている消防団の統合計画の概要を伺う。

**答** 第5次旭市行政改革アクションプランに沿って、令和7年度から5年間で実施される。計画では、部数を47個部から31個部に再編し、団員数を769名から550名に改正する予定。

**問** 再編により人数が減るので、消防団員報酬と出勤報酬を増額することはできないか。

**答** 消防団員報酬、出勤報酬ともに、国が示している基準額と差異がある状況。各報酬額についても、今後の組織再編と並行し、検討していきたい。

**問** 操作大会ではなく操作の習得を目的とした訓練に変えるべきではないか。

**答** 県や県内市町村の動向に注視し、今後の開催の有無を決定する必要がある。消防団活動



永井 孝佳 議員

能力の維持と団員の負担軽減を考慮した訓練を企画していきたい。



### 環境美化について

**問** ごみのポイ捨てやペットの糞尿の放置に対する取り組みを伺う。

**答** 被害に遭っている方に不法投棄禁止の看板やペットの糞尿被害防止の看板を配布している。原因者が分かった場合、関係機関と連携し、指導を行っている。

**問** 旭市環境美化推進に関する条例では不法投棄をした場合に5万円の罰則規定が設けられている。罰則を知ってもらうことで抑止力になる。もっと周知ができないか伺う。

**答** ホームページや広報誌による広報活動や、立て看板にその旨を明記するなど、効果的な周知方法を検討していきたい。



金澤 雅哉 議員

### 若者の市政参加について

**問** 若者から「市政が見えない」「情報が届かない」との声があるが、市は現状をどう把握し対応しているのか。

**答** 昨年度実施した市民アンケートでは、若い世代ほど広報誌を読んでいる割合は低かった。市の情報は広報誌のほか、SNSも活用し、様々な媒体から取得できるように取り組んでいる。

**問** 行政の施策や予算などは、専門用語が多く理解しづらい。説明の方法を工夫することが重要であると考えますが、誰にでも分かりやすい情報発信の工夫は行っているのか。

**答** 予算を家計に例えるなど分かりやすく伝わるように工夫している。また、1月からは広報誌をリニューアルし、若い世代にも興味を持ってもらえる紙面づくりに取り組んでいる。

**問** 若者に伝わりやすいSNSや動画を活用した情報発信を積極的に行っているかどうか。

**答** 市長とあさぴーによるダンス動画は好評であり、市に関心を持ってもらえるきっかけとなった。今後も市政への入り口としてSNSや動画の発信に努める。



12万回以上再生された市長とのインスタ動画第1弾

**問** 若者が市政に参加できる方法について、若い世代に特化した仕組みはあるか。

**答** 市長への手紙制度、地域意見交換会などを実施している。総合戦略の策定に当たっては若者を含めたアンケートを実施するなど、若い世代からの意見の把握にも努めている。

**問** 若者の声が実際に政策に反映された事例はあるか。

**答** 代表的なものとして、子育て世代の意見から実現したおひさまテラスや給食費無償化など子育て支援に関する事業がある。

### 障がい者福祉の充実―ストーマ装具の負担軽減へ

**問** 物価高騰によりストーマ装具などの価格が上昇し、負担が増加している。基準額の早期見直しはできないか。

**答** 昨今の急激な物価高騰の影響は、ストーマ装具についても例外ではなく、障がいのある方の生活の負担は増加しているものと認識している。ストーマ装具の基準額見直しについては、近隣の状況を参考にしながら、より適正な水準に設定していくよう検討していく。

### 愛犬連れでも安心できる道の駅へ

**問** 道の駅季楽里あさひで、愛犬連れの来訪者が安心して短時間の買物や食事を楽しめるよう、またペット同伴エリアの環境向上のためにも、リードフックの設置はできないか。



伊藤 春美 議員

**答** 利用実態やニーズを把握するとともに、他の道の駅の事例なども参考にしつつ、安全性、管理体制、設置場所等について、指定管理者と協議していきたい。

### 自転車ルール改正の周知を強化

**問** 令和8年4月から自転車の交通違反に反則金制度が導入される。高齢者への周知と取り組み状況について伺う。

**答** 広報やLINE、チラシ配布などで周知を行う。また、取り組みとしては、まちづくり出前講座に「交通安全」があるので、相談があれば対応する。



**問** ヘルメットの購入に上限2000円の助成があったが、助成制度は継続するのか。

**答** ヘルメットの購入補助は、県の補助金を利用しており、県が令和8年度も実施予定とのことなので、市も引き続き行う予定である。



高橋 美千子 議員

### 地域社会での外国人住民との共生について

**問** 外国人住民の実態について伺う。

**答** 外国人の住民人口は2133人で、国籍別ではタイ525人、インドネシア483人、ベトナム464人、そのほか中国、フィリピン、カンボジアなど計31の国と地域となっている。

**問** 就労状況はどうなっているのか伺う。

**答** 在留資格では、特定技能、技能実習、技術・人文知識・国際業務等となっている。

**問** 外国人の生活保護受給者の数を伺う。

**答** 外国人の生活保護受給者は5人で、タイ3人、ブラジル1人、台湾1人となっている。

**問** 外国人の国民健康保険税の滞納状況を伺う。

**答** 令和6年度末で、滞納世帯数は505世帯、滞納金額は2667万円となっている。

**問** 様々な問題があると思うが、市役所内に外国人専用の相談窓口はあるのか。

**答** 専用の窓口はないが、それぞれで対応している。

**問** 学校ではどのように日本語教育を行っているのか。

**答** 実態に応じて、特別な教育課程を編成して日本語指導を行うことや、個別の説明等の学習支援を行っている。

**問** 旭市モスク「マズジドインドネシア」について、コミュニケーションを図るためのアクションを起こしているか。

**答** 関係機関と情報は共有している。周りの住民と相互に理解・協力していくことは重要と考えているが、市として具体的なアクションは起こしていない。

**問** 旭市での外国人との共生について、市長の考えを伺う。

**答** 地域住民と外国人が共に安心して生活出来るよう環境を整えることは、地方自治体の役割であると認識している。必要に応じて適切に対応していく。

### 国民健康保険税の負担軽減対策について

**問** 国民健康保険の世帯数と滞納世帯数は。

**答** 国民健康保険の世帯は9433世帯。滞納世帯は令和6年度決算で1633世帯。

**問** 国保税の均等割額を未就学児については、半額を国が負担することとした。これを受け、18歳未満の被保険者の国保税の均等割を免除している県内自治体もある。旭市でもできないか。

**答** 社会保障審議会において、子育て世帯のさらなる負担軽減が進められている。国の動向を注視し、法にのっとった対応により負担軽減を進めていく。

### 園芸用廃プラスチック対策の農家費用軽減について

**問** 市は他の自治体よりkg当たり10円多く補助しているが、

これを充実し、園芸農家の負担なしにしてはどうか。また、ポリエチレン等の焼却できる資材について、市の負担で焼却できないか。

**答** 補助金額は令和4年に増額し、近隣市と比べても厚い支援となっている。今後も適正な支援となるよう検討を進めたい。

また、農業用ポリエチレン等は、東金市の処理工場で固形燃料に再生処理し、工場や発電所の燃料として使われている。焼却せず再生利用することで持続可能な農業と脱炭素社会の実現に資するものと考えている。

### 飯岡駅地域から国道126号バイパスまでの排水対策について

**問** 現在どのような計画でこの地域の雨水対策をしようとしているのか。

**答** 飯岡駅南地域の排水先は、主に4つのルートがあり、既存排水路の機能を最大限發揮できるように、改修と維持管理を進めている。冠水が発生する場所と旧海上中学校跡地が近接していることは認識している。跡地利用の具体化を進める際には、冠水対策を含む道路や排水等のインフラ整備を一体的に検討、対応していく必要がある。



松本 源太郎 議員



伊場 哲也 議員

まちづくり出前講座について

**問** 出前講座は非常に優れた制度である。令和6年度の実施状況や課題を踏まえ、PR強化やアンケートの充実、オンライン化などの改善策について伺う。

**答** 令和6年度は開催回数42回、参加者880人。実施率は62講座中21講座で約34%。開催回数上位の講座は介護予防や健康づくりなどで、直近3年間で未実施の講座は24講座。講座の周知は広報で行っており、全庁的な反省は実施していない。実施報告書により各課で改善を図っているが、アンケート機能の充実や、内容に応じたオンライン化・動画化についても今後検討し改良に努める。

後期高齢者医療保険料の改定について

**問** 後期高齢者医療制度の制度内容、令和8年度・9年度の保険料の改定内容について伺う。

**答**

75歳以上の全ての方と、一定の障がいがあり65歳以上で希望する方を対象にした医療制度。千葉県後期高齢者医療広域連合が運営主体となり、市では申請の受付や保険料の徴収などを行っている。保険料率は原則2年ごとに改定が図られ、令和8年度は改定の年となる。保険料は均等割額と所得割率で決定され、今回の保険料率の改定内容は、医療分均等割額が5万1000円、所得割率が9・40%、賦課限度額が85万円となり、均等割が7200円の増、所得割率が0・29ポイントの増、賦課限度額が5万円の引き上げ。8年度から新たに保険料とあわせて徴収される子ども・子育て支援金分は均等割額が1310円、所得割率が0・25%、賦課限度額が2万1000円と決定された。

後期高齢者医療保険料

	令和8年度	令和7年度
均等割額	5万1000円	4万3800円
所得割率	9.40%	9.11%
賦課限度額	85万円	80万円

子ども・子育て支援金分

	令和8年度	令和7年度
均等割額	1310円	—
所得割率	0.25%	—
賦課限度額	2万1000円	—

市議会から国へ意見書を提出

保育士配置基準の引き上げと改善を求める！

陳情第1号が採択されたことに伴う、発議第1号の可決により、内閣総理大臣や子ども家庭庁長官、衆・参議院議長などに意見書を提出しました。

意見書の全文は右のQRコードでご覧いただけます。



意見書

〈意見書抜粋〉

全ての施設において、基準以上の条件での保育を実現するために、1歳児の加算要件をなくした上で、法令改定により基準を引上げることで、3歳児、4・5歳児は経過措置を撤廃することで、保育士等職員の負担を軽減し、子ども一人一人に対して丁寧な関わりを保障するとともに、全ての年齢で基準をさらに改善することが、保育現場と保護者の切なる願いである。

議会をもっと近くに

会議資料を公開しています

会議資料をホームページで公開しています。資料は順次掲載されますので、ぜひご覧ください。

これまでは議事日程や審議案件等のほか、一般質問表を掲載していましたが、今定例会から議長報告一覧や議案質疑通告一覧などの資料もホームページで公開しています。

掲載している資料

- ・ 議事日程
- ・ 議長報告一覧
- ・ 議案一覧
- ・ 一般質問表
- ・ 議案質疑通告一覧

などの資料を公開しています。



議事日程と会議資料



審議案件一覧



# 議会活動実績2025

昨年、議場では何が動いた？どんな課題を、どうやって決めた？

難しい話はいったんお休み。数字で見る、議会の1年。その「カンタン解説」をお届けします。

会期日数 **96** 日

※内、本会議日数は24日

令和7年定例会は3月、6月、9月、11月の年4回開催され、1回の定例会につき20日程度の会期が設けられました。

そのほか、令和7年は8月に臨時会が1回開催されました。

会議時間は本会議約4590分、委員会約2400分でした。(休憩を除く実会議時間)

## 定例会の流れ

### 本会議

- 初日に議案が上程され、議題となります。
- 市長及び課長が議案の説明をします。
- 議員が議案に対して疑問点を質疑します。

### 一般質問

議案とは別に、市政全般について質問します。

### 委員会

- 議案等を詳細に審査するため、担当の委員会に審査を依頼します。
- 各委員会で専門的に詳しく審査し、委員会としての可否を決めます。

### 本会議

- 委員会での審査経過や結果を報告します。
- 議案等に対して自己の意見を表明する討論を行います。
- 議案等について賛成・反対の採決を行います。

審議等  
案件数

**102** 件



内訳は市長提出議案91議案、委員会提出議案5議案、議員提出議案1議案、請願5件でした。

傍聴者数

**143** 人

※内、委員会傍聴者4人

実際に足を運んだ方は143人、ネットのライブ配信の視聴は6321件でした。

いつでも、どこからでも、物理的な距離を越えて議会は皆さんのすぐそばにあります。



議会費  
予算額

**2億2106** 万円



令和7年度の市の一般会計予算376億3500万円のうち、議会費が占める割合は、約0.6%です。

この予算が、市政のチェック役としての大切な使命を支えています。



# 議案質疑と一般質問の進め方が変わりました

今定例会より、議案質疑および一般質問の進め方を見直しました。より充実した審議を行い、議論の内容を分かりやすく伝えるための変更です。変更点は以下のとおりです。

## 〈議案質疑〉

議案質疑の方法について、議案順から通告者順とし、一括質疑一括答弁で、質疑回数は3回とし、質問席への移動を減らすことで、会議時間の短縮による会議の円滑化を図ることとしました。

## 〈一般質問〉

一般質問の方法について、質問の回数制限をなくすことで、一つの項目を深掘りしたり、答弁に合わせて柔軟に再質問することができるようになりました。質問回数の制限をなくしたことに伴い、質問答弁時間を合わせて60分以内としました。これにより、簡潔明瞭な質問と答弁が期待されることとなりました。

## 議案質疑

	新	旧
質疑の順番	通告者順で議案ごと	議案順で通告者ごと

## 一般質問

	新	旧
質問回数	制限なし	4回
質問時間	質問答弁含め60分以内	質問のみ40分以内

## 第2回定例会の予定

(6月5日～6月25日)

日	月	火	水	木	金	土
5/31	1	2	3	4	5	6
					開会	
8	8	9	10	11	12	13
				議案質疑		
14	15	16	17	18	19	20
	一般質問	一般質問	一般質問(予備日)	建設経済 常任委員会	文教福祉 常任委員会	
21	22	23	24	25	26	27
	総務 常任委員会			閉会		

いずれも10時から開催予定です。

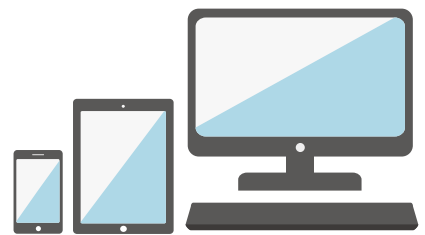
日程は変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

## 議会を傍聴しませんか

本会議は誰でも傍聴できますので、希望される方は、市役所4階の議会事務局までお越しください。親子傍聴席も設置していますので、お子様連れの方でも気兼ねなく傍聴できます。

## 議会中継をご覧ください

本会議は、インターネットで生中継と録画配信(過去5年分)を行っています。パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末でも視聴できます。ぜひご覧ください。

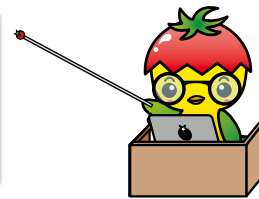


あさピーが解説

## 気になるあの用語

### Q フェーズフリーってな～に? 掲載は9ページ

A 「フェーズフリー」とは、身の回りにあるモノやサービスを、日常時はもちろん非常時にも役立てることができるという新しい防災の考え方です。「日常(フェーズ)」と「非常時(フェーズ)」という2つの時間を区



本紙で気になった用語を解説するよ!

切るのではなく、自由(フリー)にするという意味を持ちます。つまり、いつもの暮らしで使っているものが、そのまま「もしも」のときにも役立つようにすることで、特別な準備をしなくても防災につながるという考え方です。